



▲ 会場に元気な歌声が響き渡りました



▲ 決意に満ちた表情の2年生の姿

市内の各中学校で立志式が行われ、今年は、市内の中学2年生 746 人が立志を迎えました。物部中学校では、自分の生き方や進路を決意として表明する「誓いの言葉」を、保護者や在校生たちの前で発表しました。立志者による合唱では、アンジェラ・アキさんの「手紙～拝啓 15の君へ～」が披露され、手拍子などのアレンジが入り、会場からは拍手が起こりました。

また、はが路 100km 徒歩の旅実行委員長の堀内一浩さんによる記念講演が行われました。講演では、人が成長できる環境やきっかけなどについて語られ、保護者の皆さんも熱心に聞き入っていました。



▲ 誓いの言葉を発表する姿は、堂々とたくましく

誓いの言葉を胸に…立志式

▼ 2月4日(火) 市内中学校



ファミリーコンサート オークストラで聴く
ジブリ音楽

▼ 2月2日(日) 二宮文化会館

誰もが知っているスタジオジブリの映画音楽を、木村弓さん、井上あずみさん、本名陽子さんが歌い、N 響団友オーケストラが奏でました。会場は、多くの親子連れでにぎわい、観客は、オーケストラの素晴らしい音色と、豪華な歌の共演に酔いしれました。



つり雛は、江戸時代の後期から伝わってきたと言われており、女の子の初節句、無病息災、良縁などを願って作られた、つるし飾りです。会場には、つり雛のほか、今年の干支にちなんだ馬飾りなど、さまざまな人形が展示され、来場者の目を楽しませていました。

第五章 真岡・浪漫ひな飾り つり雛展示

▼ 2月2日(日) 久保講堂



バレンタインデー 米粉料理教室

▼ 2月8日(土) 市民館

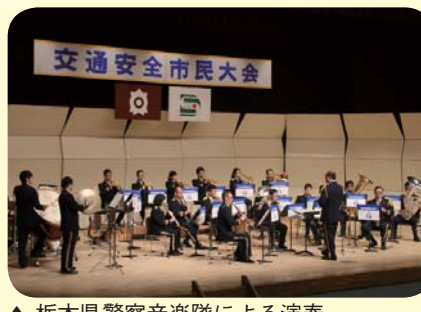
食生活の多様化で、米の消費量が減っていることから、米の消費量を増やすことを目的に、米粉を使った料理教室が行われました。メニューは、米粉のチョコレートケーキとホワイトシチューの2品。米粉は数多くの料理に使用できると講師から説明を受けると、参加者は、関心を寄せていました。



32人が参加し、アーティフィシャルフラワーと呼ばれる花材で、コサージュを作りました。花には表情があり、きれいに見える向きを見つけることがポイントだそうです。思い思いに色とりどりの花材を並べ、ボンドで貼り付けていくと、華やかなコサージュが完成しました。

市民講座 アーティフィシャルフラワー教室

▼ 2月6日(木) 市民館二宮分館



▲ 栃木県警察音楽隊による演奏
緊張しながらも丁寧に読み上げました▶



▲ 交通事故防止に取り組む決意を新たにしました



▶ 一斉に街頭指導とパトロールに出発

市民など約 1,000 人が参加し、シートベルト着用の徹底、飲酒運転の根絶、3S 運動の推進など、交通安全に対する意識を高めました。大会では、小学生による交通安全作文の朗読が行われ、参加者は真剣に聞き入っていました。

また、市民大会開催に先立ち、駐車場において、エリア集中パトロール作戦出発式が行われ、警察車両が一斉に街頭指導とパトロールに出発しました。

真岡市交通安全市民大会

▼ 1月30日(木) 二宮文化会館



日本一のいちご、いただきます

▼ 1月16日(木) 真岡東小学校

子どもたちに地域の特産品を身近に感じてもらうと、JA はが野いちご部会から市内の小中学生にとちおとめがプレゼントされました。児童たちは、2Lサイズの大きくて真っ赤ないちごをほおばると「甘くてとってもおいしい」と喜んでいました。



日本サッカー協会
こころのプロジェクト 『夢の教室』

▼ 1月14日(火)・15日(水) 真岡小学校

夢を持つことや、仲間と協力することの大切さを子どもたちに伝える事業「夢の教室」が実施され、元サッカー日本代表の水沼貴史さんが、「夢先生」となり、授業を行いました。水沼さんは、自身の体験談などを披露し、児童たちは、夢に向かって歩いていく大切さを学びました。



市民講座 プロ直伝みそづくり講座

▼ 1月25日(土) 市民館大内分館

手作りのおいしいみそを作ろうと、60人が参加し、会場は受講生で満杯になりました。材料をほぐしたり、混ぜ合わせたり、練り込んだりと、根気のいる作業でしたが、受講生は、一生懸命愛情込めて作っていました。今回作ったみそは、10カ月程度熟成させると完成するそうです。



第22回にのみやたこあげ大会

▼ 1月19日(日) 鬼怒川河川敷緑地公園

適度な風が吹き、絶好のたこ揚げ日和となったこの日、約 300 人が参加し、手作りだこの出来栄や揚げ方を競いました。また、群馬県の赤城風の会の皆さんにより、6畳大だこが大空高く揚げられると、その迫力に参加者からは歓声が上がりました。